

●植物部会が開催されました。9月5日

午後2時に植物部会が開会されました。秋の植物観察会は10月5日（土）に京田辺市打田地区の植物調べすることに。そして里山農園やヤマトサンショウウオの生育池周辺の植物生育調査の最終植物の同定、木津川希少種生育か所の調査確認を報告し合いました。出席は光田先生、山下さん、近藤さん、白木さん、伊藤さん、播川さん、そして京都市内から仲沢さんが出席されました。



植物の同定風景

●近畿大学農学部（奈良キャンパス）のオープンキャンパスにて

近畿大学農学部（奈良キャンパス）のオープンキャンパスを利用させてもらって、昆虫観察を行いました。当日は農学部内での研究内容を見学させてもらい、卒業生の研究発表を聞かせていただいた後、午後は桜谷先生の案内で行内の山地へ昆虫採集に出かけました。枯木の中からクワガタの成虫を見つけた



り、枯木をひっくり返してカブトムシの幼虫をたくさん捕まえたりしました。ただ、特に学校に連絡をしていなかった為、事前に連絡をしてほしいとのクレームをいただきました。

●スズメバチにご注意下さい。

里山農園に約一か月前に日本ミツバチの巣箱が持ち込まれていましたが、農園での定期作業日に参加されて来た皆さんは気づかれずにおられました。ヤマトサンショウウオ池の調査に出かけられた福井波恵さんがオオスズメバチがこの巣箱を襲撃しているところを発見されて連絡を頂きました。翌日ヤマトサンショウウオ会議の出席者とミツバチ関係者の安岡



オオスズメバチ



さんや山岡さんの協力をいただき、安全ロープと危険を告知する看板を取り付けてもらいました。報道によりますと子供たちが何も知らずにオオスズメバチに刺されてしまったという事故が発生しているとのニュースが伝えられています。翌日の7日には除草作業に参加をお願いする呼びかけがされていましたが、一日早く対応策を行っていたので何よりも無事故でよかったと思っています。自然を相手にした活動や作業を実行しですが、保護者の皆さん自ら危険の内容に注意を払って活動にご参加下さい。これから秋口には猛毒の持ち主「マムシ」の産卵期になってきます。湿ったところの刈草の下などに潜んでいますのでご注意ください。

●魚とり 9月8(日)

去年は猛暑と増水のために木津川では魚とりがスタッフの高齢化のため魚とりが実現できませんでした。今年は猛暑酷暑を避けて9月実施として計画しました城陽市教育委員会主催の取組みに里山の会が協力致しました。

募集人数は15人でしたが、応募者は85人という非常に多い申し込みがありました。この取り組みで最も困難なのは水難事故防止のためのライフジャケットの用意です。なかなか多人数用意することは困難であります。小学校の時代に抽選漏れなどで参加できない方を生み出すのは大変心苦しいものです。何とか努力いたしましたが万一の事故を考えるとつらいところです。そしてもう一つ水難事故防止のためには万全を期するためには若い元気なスタッフの参加が求められるのです。今回ご参加の子どもさんの保護者の皆さんに人方ならないお世話をいただき川流れの体験を行うことができました。仰向いて浮いて流れる体験は少し難しい取組でしたが、一回二回と回を重ねるごとに上手に浮かぶことができるようになりました。ご協力いただいた保護者の皆さん方から心からお礼を申し上げます。



今回の魚とりでは準絶滅危惧種とされている貴重な「キイロヤマトンボ」のヤゴが捕獲されました。こうした貴重種が捕獲されることはなかなか無いのですが、この日は特別だったのでしょう。良かったです。みんなで「たも網」で捕獲した生き物は ブルーギルの稚魚 オイカワとデメモロコの稚魚が多く取れました。そして

ヌマエビ スジエビ ヤゴ オイカワ ニゴイ モツゴ カワヨシノボリ ヌマチチブ タウナギ カマツカ ドジョウ ドンコ等それぞれ1~2匹捕まえる事が出来ました。投網で捕獲出来たものは、オイカワ デメモロコ アユ(15cm程度) ボラでした。数日前の増水で実行できるかと随分気をもみ毎日木津川に出かけて水位の点検、流れの中に柳の枝を落とし込み魚の隠れ家や棲み処を作り出し、みんなが魚をとれるようにと福井さんが川に入って下さいました。又雨上がりのあと、通路の雑草が急激に成長するので除草作業を暑い中、森島さん、太田さん、播川さんが行って下さいました。この日のために多くの皆さんが一生懸命力を尽くしていただきましたので無事故で終えることができました。

第27回環境講演会 参加案内

京都府の淡水魚はどうなっているのかな

ひと昔前には、田舎で魚釣りが盛んで、多くの魚が川や池に生息していました。しかし、近年は環境の変化や開発の影響で、多くの魚が絶滅の危機に瀕しています。京都府の淡水魚の現状を、専門家の先生から学びたいという方は、ぜひこの講演会に参加してください。

2024年9月14日(土) 13:00~18:00

京田辺市社会福祉センター

講師 『きょうと府の淡水魚はどうなっているのかな』

講師 近畿大学名誉教授 細谷和海 先生

参加費 無料

参加申し込み 60人

受付開始 8月1日から開始 定員になり次第締め切り

申込先 info27@yaho.co.jp

1氏名 2住所 3参加方法(自宅来場・徒歩等)

4電話番号 5メールアドレス

主催 特定非営利活動法人やましろ里山の会 事務局：京田辺市田辺南15 0774-64-4183

後援 (申請中) 京都府自然環境センター 京田辺市自然環境センター 京田辺市 京田辺市教育委員会 京田辺市環境委員会 京田辺市環境文化委員会

●第27回講演会「京都府の淡水魚はどうなっているのかな？」

9月14日(土) 13:00 から 京田辺市社会福祉センター

京都府のデータブックの淡水魚の責任者である細谷和海先生からお話をいただく第27回講演会を開催いたします。里山の会は今年28年を迎えていますが、お魚のお話をしていただくのは初めてです。貴重な耳寄りなお話が聞けると思いますので、多くのご参加をお願い致します。勿論参加費無料で行います。会場が満員になりましたらご勘弁をお願い致します。

●「親子カヌー体験」(一部有料) 9月16日(月)



木津川・笠置浜で藤田カヌー様の御理解ご協力を得て開催いたします。一人乗り艇は15艇、二人乗り艇は5艇を準備しています。只今の所、少し艇に余裕があります。ホームページから申し込みを受け付けていますのでお急ぎください。

●「第二回きょうといきものフェスタ」が9月28・29日の二日間、京都府立植物園で開催されます。

府下の活動団体(高校など)約60団体が模擬店や活動発表、観察会を行います。やましろ里山の会は、昨年同様竹蛇籠の製作講習会に参加者の皆さんと実行します。そのほか木津川の魚のお話とヤマトサンショウウオの活動紹介を行います。そして松かさツリー製作を行います。勿論ポスター展示も致します。期待してお越しくださいお待ちしております。そして誰もが驚く竹サインペンの販売も致します。

●9月から竹サインペン製作作業日をお知らせしています。

9月は12日・27日に実行いたします。ご多忙のところとは存じますがご参加ご協力をお願いいたします。この取り組みは使い捨てられるプラスチックペンが捨てられ、海ゴミとなっていく海ゴミ対策にと考えています。また農家の方が悩んでいる竹の繁茂対策でもあります。そして障がい者の作業所での人権費UP対策に役立ちたいと考えています。またやましろの竹はエジソンの電灯(フィラメント)に使用されたものです、奈良東大寺二月堂のお水取りの松明の使用されている真竹を使っています。竹細工は殆んどプラスチック製品にとって代わり今日斜陽産業になる時代になってしまっています。社会福祉分野での手作業とプラスチックゴミ対策として、各方面で使っていただき、運動のきっかけとしてご使用いただければ幸いです。趣旨をご理解の上、ぜひご協力いただければ有難いのです。障がい者の方々にも行える作業と考えて、改善工夫をしております。気楽な作業ですので少しの時間でも立ち寄って下さい。里山の会事務所の1階で作業を行っています。よろしくお願いします。

●第2回農園部会の開催日決まる 9月17日(火) 11:00~13:00

第1回農園部会を開催して以来の久しぶりの会議日が決まりました。この間にはタマネギやジャガイモの収穫を行い農作物被害ではカボチャが食われ、カメムシの異常発生対策の木酢液設置で追い落とし作業に追われ、草刈り作業に追われる時期でした。夏野菜の半分は収穫不能になってしまう事態になりました。農道修理まで手が回らずに秋を迎えることになりました。しかし春の野草を食する会やホタルの集いや里山音楽会、昆虫観察や夜の生き物調べなどには多くの皆さんがご参集いただき充実した取り組みになってきています。何よりも長年ヤマトサンショウウオの生息池の発見をしたことは非常に素晴らしい成果を治める事が出来ました。そのことからヤマトサンショウウオの取組のまとめとして調査観察集を里山の会結成30周年記念として発刊しようという取り組みが開始されることになりました。昆虫部会の資料収集におさまらず、植物部会の周囲の植物の調査の実施、魚部会のザリガニ対策実施等里山のそれぞれの専門分野の得意を生かした総合的な協力活動と発展しています。栽培農園活動から各分野が力を発揮する総合活動スタイルに近づく素晴らしい活動へ歩み始めることに成って来ました。



階段修理のための杭づくり

今回 9 月 17 日の農園部会は、9 月 24 日に同志社大学生 5 名がボランティア体験活動として来所頂きますので、❶樹木名看板の取り付け作業や、❷草刈り作業の実施のための諸準備を計画することが主な狙いなのです。そのほか出来れば❸教育棟への階段修理等を考えています。そのほか取組のご提案もお聞きできればと思っています。関係各位にはお手伝いのためにご協力・ご出席をお願い申し上げます。